

キリヌキ

郵便はがき

料金受取人払

3 5 0 - 1 3 3 5

狭山局承認

658

0 2 2

(受取人)

埼玉県狭山市柏原393

八千代工業株式会社

本社 事業企画室 IR担当者 行

差出有効期限  
平成16年1月  
31日まで

(切手不要)



フリガナ				
ご氏名				
ご住所	〒(         ) (都・道・府・県)			
お電話番号	(         )			
性別	男・女	年齢	(         )歳	
株式投資歴	a. 3年未満	b. 3年以上10年未満		
	c. 10年以上20年未満	d. 20年以上		
当社株式保有歴	a. 3ヶ月未満	b. 6ヶ月未満		
	c. 1年未満	d. 1年以上		

株主メモ

決算期日 3月31日

定時株主総会 6月

基準日 利益配当金 3月31日  
中間配当金 9月30日

公告掲載新聞 日本経済新聞

貸借対照表及び損益計算書掲載のホームページアドレス

<http://www.yachiyo-ind.co.jp/kessan/index.html>

名義書換代理人 東京都港区芝三丁目33番1号

中央三井信託銀行株式会社

同 事務取扱所 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
(〒168-0063)

郵便物送付先 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部

電話照会先 電話 03(3323)7111 (代表)

同 取次所 中央三井信託銀行株式会社 全国各支店  
日本証券代行株式会社 本店・全国各支店

(お知らせ)

住所変更、単元未満株式(端株)買取・買増請求、名義書換請求及び配当金振込指定に必要な各用紙のご請求は、名義書換代理人のフリーダイヤル0120-87-2031で24時間受付しております。

 八千代工業株式会社  
YACHIYO INDUSTRY CO.,LTD.

ホームページアドレス <http://www.yachiyo-ind.co.jp>




第51期

**YACHIYO**  
YACHIYO INDUSTRY CO.,LTD.

**中間事業報告書**  
(平成15年4月1日～平成15年9月30日)

八千代工業株式会社

事業の内容

当社は、部品事業では自動車の機能部品(燃料タンク・サンルーフ)の開発・製造と板金部品・樹脂部品の製造を、完成車事業では本田技研工業(株)向け軽自動車の生産を行っています。

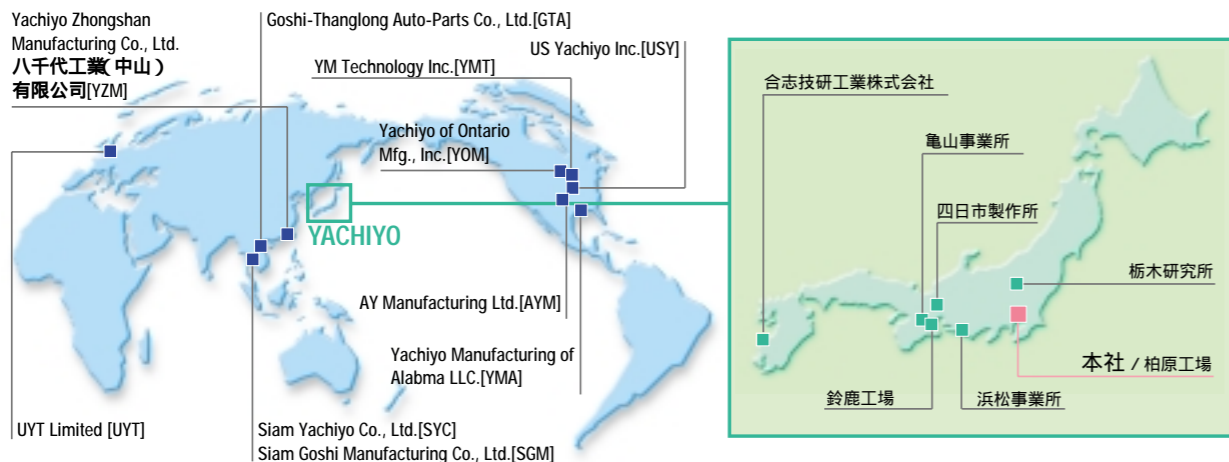
主要製品

- 機能部品 .....燃料タンク、サンルーフ
- 板金部品(ボディ骨格部品)
- 樹脂部品 .....インパネ、バンパー、スポイラー
- 補修部品 .....ボンネットフード、ドア、フェンダー
- 軽自動車 .....ライフ、アクティ、パモス

主な関係会社

- (子会社)
- ヤチヨ オブ オンタリオ マニュファクチュアリング インコーポレーテッド(カナダ)
  - 自動車部品の製造及び販売
  - ヤチヨ インダストリー(ユークー) リミテッド(英国)
  - ユーワイティー リミテッドの持株会社
  - サイアム ヤチヨ カンパニー リミテッド(タイ)
  - 自動車部品の製造及び販売
  - ヤチヨ オブ アメリカ インコーポレーテッド(米国)
  - エーワイ マニュファクチュアリング リミテッド、ユー エス ヤチヨ インコーポレーテッド及びヤチヨ マニュファクチュアリング オブ アラバマ エル エルシーの持株会社
  - ワイ エム テクノロジー インコーポレーテッド(カナダ)
  - 自動車部品等の金型、治具及び検具の製造及び販売
  - ユー エス ヤチヨ インコーポレーテッド(米国)
  - 自動車部品の製造及び販売
- ヤチヨ マニュファクチュアリング オブ アラバマ エル エルシー(米国)
  - 自動車部品の製造及び販売
  - 八千代工業(中山)有限公司(中国)
  - 自動車部品の製造及び販売
  - 合志技研工業株式会社
  - 自動車部品の製造及び販売
  - サイアム ゴウシ マニュファクチュアリング カンパニー リミテッド(タイ)
  - 自動車部品の製造及び販売
  - ゴウシ タンロン オートパーツ カンパニー リミテッド(ベトナム)
  - 自動車部品の製造及び販売
- (関連会社)
- ユーワイティー リミテッド(英国)
  - 自動車部品の製造及び販売
  - エーワイ マニュファクチュアリング リミテッド(米国)
  - 自動車部品の製造及び販売

ネットワーク



Contents

社長インタビュー .....	1	連結財務諸表 .....	8
FOCUS - YACHIYOの製品 - .....	4	単独財務諸表 .....	10
連結業績の概況 .....	6	Information .....	12

# 競争力ある生産体質を構築し、収益力の強化を図ってまいります。



代表取締役社長  
**大竹 茂**

**Q** 当中間期の業績について総括をお願いします。

**A** 全体としては、順調に推移しています。

技術開発面では積極的な研究開発活動を展開し、生産面では生産体質改革をさらに推進するとともに、生産能力拡大を図ってきました。また八千代工業(中山)有限公司(中国)が本年9月に樹脂製燃料タンクの生産を開始しました。これらの結果、当中間期の売上高は1,163億3千2百万円(前年同期比9.4%増)となりました。利益については、主として、北米及びアジア地域などでの増収に伴う利益の増加が寄与し、経常利益は20億2千1百万円(前年同期比4.3%増)、中間純利益は9億7千8百万円(前年同期比38.6%増)となりました。

**Q** 中長期的な経営目標・戦略について、お聞かせください。

**A** 当社は、半世紀の間、機能部品メーカーとして、モータリゼーションの分野で大きな役割を果たしてきました。

その中で長年培ってきた独自の技術力を活かして、部品事業と完成車事業という2つの柱の強化・拡大をめざします。

まず、部品事業については、収益力を強化し、グローバル競争の中で生き残る体質を構築することを目標に、基幹部品事業の拡大を図っています。その一環として、樹脂製燃料タンク

など当社が技術力・市場における地位で優位性を持つ分野に経営資源を集中し、収益の柱として確固たるものにしていきます。

また、完成車事業については、軽自動車の分野で圧倒的な競争力のある生産体質を構築することを目標に、生産能力アップとコスト削減を図っています。その一例として、約90億円を投資し能力拡大・体質改革を行い、収益性の改善に努めています。

**Q** 目標達成に向けた具体的な方針・取組み、および今後の展望について教えてください。

**A**

**<今後の事業戦略について>**

部品事業と完成車事業の両事業ともに、発展・拡充に努め、全社的な収益性の向上に努めていきます。そのためにも、特に部品事業の開発力を高めて、付加価値の高いものをいかに生み出していくかが重要と考えています。

**部品事業**

収益性向上と事業規模の拡大を進めるために、まずは基幹部品事業の拡大、海外拠点の拡充を図っていきます。基幹部品の一つである樹脂製燃料タンクは、当社がもともと燃料タンクメーカーであり、かつ樹脂製の部品も扱ってきたからこそ、いち早く単独で開発・生産が可能になったものです。現在、樹脂製燃料タンクは非常に順調に推移しており、グローバルな生産体制も整ってきました。特にアメリカと中国の生産体制を整えたのがこの1~2年といえます。

生産面に合わせて、受注拡大のために営業にも力を入れ販路を拡げていきます。これらの取組みのもとで、グローバルな市場で十分通用する生産体質を確立し、部品事業の利益貢献度を高めていきます。

**完成車事業**

生産能力アップおよびコスト削減に向けて、昨年から四日市製作所の「体質改革」に取り組みま

した。具体的には、溶接工程におけるフレキシブルラインの導入、塗装工程の効率化、および組立工数の低減を図っており、この9月から新しい体制で本格的に稼働しています。この結果、840台から1,000台への日産能力のアップを実現しています。この体制のもと、新型ライフの生産が既にスタートしており、順調に立ち上がっています。「体質改革」は今後も継続し、更なる効率化を図り競争力のある生産体質を強化していきます。

**<顧客基盤の拡大について>**

現在の事業は本田技研工業(株)をベースとしており(売上シェア9割超) 大変強固な基盤となっています。今後、顧客満足度の向上を図りつつ、当社の技術力を武器に顧客基盤を拡大していきます。将来的には国内外の他メーカーとの取引拡大も視野に入れていきます。

**<生産体質改革についての具体的な取組み>**

顧客満足度向上を第一に考え、品質の格段の改善を図っています。具体的には現在、本田技研工業(株)と「ケタ違い品質」に取り組んでいます。これは、例えば製造現場、あるいは本田技研工業(株)に供給する段階での不良品発生率を10分の1にする、完成車となった時にクレームを10分の1にするというものです。これらは、コストはかかるが顧客満足度はあがる、というかなりハードルの高い目標ですが、体制を整備し、全社展開で取り組んでいます。

部品事業においても、生産効率の向上によりコスト体質の改善を図っています。例えば樹脂製のバンパーやエアロパーツなどについて、塗装工程の効率改善を行っています。また補

修用の部品では、市場からの注文がダイレクトに当社に来るかたちをとり始めました。これは中間在庫を減らすことができるため効率化促進に寄与します。

こうした、いわば「お金を使う」体質改革と、「お金を使わない」体質改革の2つを、今後もバランスよく展開していきます。

**<海外戦略についての展望>**

現在、北米ではアメリカ・カナダ、欧州ではイギリス、アジアではタイ・中国など、数多くの現地法人を設立、操業しています。今後とも高度な技術力に基づく、「真似のできない」競争力のある製品をベースとして、拠点の拡充、生産能力の拡大、そして未進出地域への対応を行っていきます。

最近の状況としては、まず、中国における樹脂製燃料タンクの生産拠点として八千代工業(中山)有限公司が稼働を始めました。ここでは、日本と同等の品質管理および生産性が確保されており、当社が培ってきた技術力・管理能力がスタートの段階から移転できています。

北米のユー エス ヤチヨ インコーポレーテッド(米国)では、樹脂製燃料タンク製造用の2台目のマシンが稼働を始めました。これも、日本の品質管理・生産性のレベルを満たすものであり、北米でのビジネス拡大に向けてバックアップ体制が充実しました。

今後の展開としては、中国での実績をベースにタイへの進出を視野に入れていきます。

その他、部品事業のもう一つの柱、サンルーフですが、北米のイー ワイ マニュファクチャリング リミテッド(米国)で米国大手メーカー等をターゲットとした、顧客層の拡充を図っています。



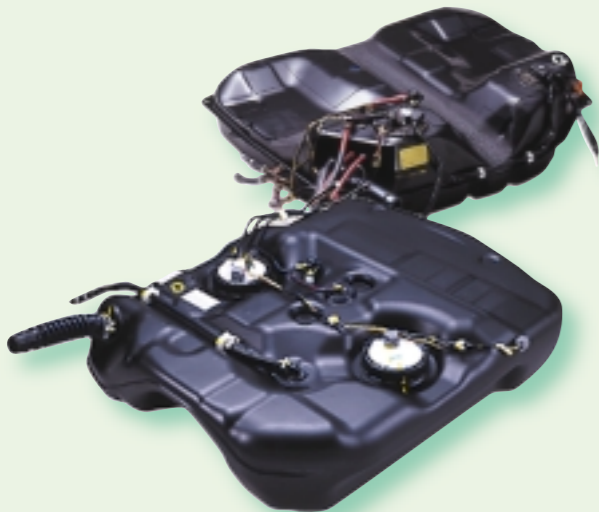
**Q** 株主の皆様に向けて

**A** 八千代工業は、上述の戦略・取組みを確実に進めて、業績の向上を図ってまいります。そして、今後も「2つの柱」を更に発展させ、世界に通用する企業へと成長してまいります。

また、皆様に信頼いただける経営を実現していくためにも、株主様をはじめ、顧客、投資家、そして従業員等、八千代工業の「ステークホルダー」の皆様、当社をより深くご理解いただけるように、積極的にIR活動を行ってまいります。

こうした成長戦略の実行・IR活動の促進を通じて、株主様の利益の向上につなげていきたいと考えております。今後も一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

# 進化する燃料タンク

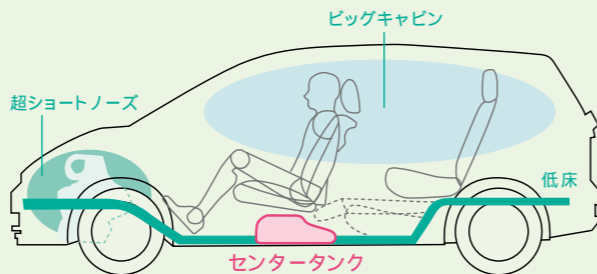


## 燃料タンクの種類と役割

燃料タンクは、自動車部品の中で一番容量の大きなものです。燃料であるガソリンを入れることから、重要性が高く、確かな品質が要求されます。

このタンクには鉄製タンクと樹脂製タンクの2種類があります。もともとは鉄製のものが多く使われてきましたが、左下の表にあるとおり、鉄製タンクには改善すべきポイントが多くありました。これを克服するかたちで登場したのが樹脂製タンクです。樹脂製タンクはヨーロッパ・アメリカが先行していますが、昨今の環境対策、例えば全米のエバポ規制値(燃料透過量に関する規制値)に対応した樹脂製タンクを先行して製造・販売している企業の一つが、八千代工業です。

[ グローバル・スモールプラットフォーム ]



鉄製タンクの時代は、形状の自由度が低かったため、その設置位置もほぼ決まっており、車体の後部に設置されていました。しかしながら、樹脂製タンクは形状自由度が高く、他の場所にも設置が可能となりました。この特性を活かして、例えば車体の中央に置いて、車体後部の空間設計を自由かつ効率的に行うことが可能となりました。

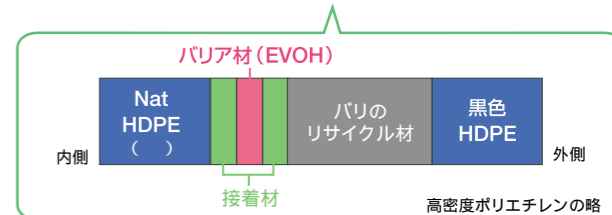
[ 鉄製と樹脂製の特性比較 ]

	鉄製	樹脂製	備考
経済性			1工程で容器が完成
重量			10~25%の軽量化
形状自由度			より複雑な形状が可能
容量			空間の最適利用が可能
安全性			爆発の危険性が少ない
耐食性			高価な表面処理が不要
燃料透過			バリア材EVOH( )で解決可能
断熱性			より良い断熱性が有る
音の低減			特別な手段は不要
リサイクル			鉄製は特殊な表面処理がネック

燃料透過防止剤エチレンビニルアルコールの略。

## 当社の取組み

当社は長年、鉄製の燃料タンクの開発・製造を行ってきました。一方で、樹脂製の部品も長年にわたり手がけてきました。この鉄製タンクで培った高い精度を誇る製造技術と、樹脂製部品で培った高い加工技術(樹脂の構造、強度等についてのノウハウ)をミックスさせることにより、単独で樹脂製タンクを開発・製造することができました。鉄と樹脂という全く異なる素材で、燃料タンクのように高度な安全性を要求される製品を作ることは非常に難しいことですが、蓄積したノウハウとたゆまぬ研究開発によりこの壁を乗り越えました。現在、エバポ規制に対応できる、透過性を低くした(性能アップした)4種6層のタンクについては、国内No.1のシェアを有しています。当社の強みは、これらの技術開発力と、グローバルな規模で製造・販売ができる体制が整っているという点にあります。



[ 樹脂製タンクの製造工程 ]

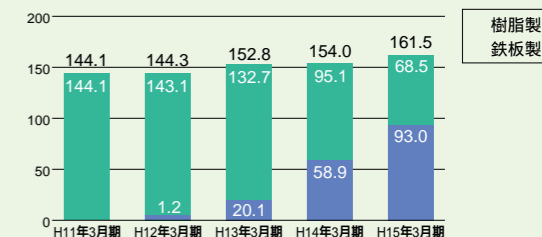


生産拠点については、現地生産の方針をとっています。コストパフォーマンスを上げながら、品質管理面でも国内と同じレベルを徹底することにより、グローバル展開の基礎を固めます。

## 燃料タンクの今後

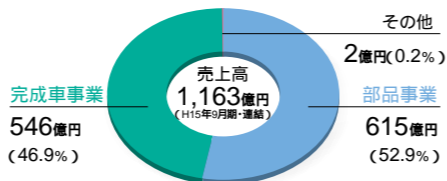
鉄製タンクの課題を克服したかたちで登場した樹脂製タンクの需要は、今後ますます急増していくと考えられます。更には、欧米における規制強化が、高品質への要求を高めることも考えられます。こうした中、当社は流れを見極め、自らの強みを活かし、常に良いものを顧客の皆様にお届けしていきます。

[ 鉄製タンクと樹脂製タンクの動向 ]



## 連結業績の概況

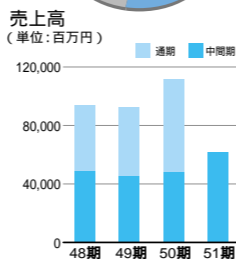
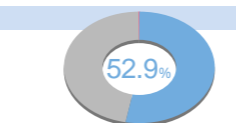
当社は、技術開発及び生産体制の強化など、企業体質の強化に努めてまいりました。技術開発面では引き続き積極的な研究開発活動を展開し、生産面では四日市製作所の生産体質改革を行い、更なる高効率化と生産能力拡大を図ってまいりました。また、操業準備中でありました八千代工業(中山)有限公司(中国)は本年9月に樹脂製燃料タンクの生産を開始いたしました。以上の結果、当中間期の売上高は1,163億3千2百万円(前年同期比9.4%増)となりました。利益につきましては、主として北米及びアジア地域における利益増加が寄与し、経常利益は20億2千1百万円(前年同期比4.3%増)、中間純利益は9億7千8百万円(前年同期比38.6%増)となりました。



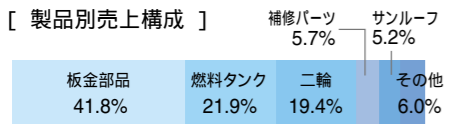
### 部品事業

国内では、合志技研工業株式会社が、昨年8月に連結子会社となったことなどにより、売上高は413億5千万円(前年同期比9.9%増)となりました。海外では、北米における燃料タンク及び板金部品の受注が増加したほか、タイ、ベトナムに連結子会社が増えたことなどにより、売上高は202億1千2百

万円(前年同期比88.7%増)と大幅に増加しました。以上の結果、部品事業の売上高合計は615億6千2百万円(前年同期比27.3%増)となりました。なお、合志技研工業株式会社及びその子会社5社の業績は、支配権獲得日の関係から前年中間期には含めておりません。



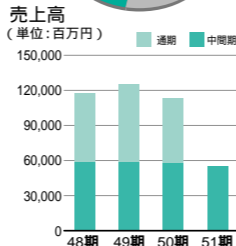
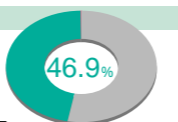
### [製品別売上構成]



### 完成車事業

完成車事業では、「ライフ」がフルモデルチェンジを目前に控えたことなどにより、当中間期は生産台数が減少し、売上高は545億7千9百万円(前年同期比5.5%減)となりました。なお、9月より生産

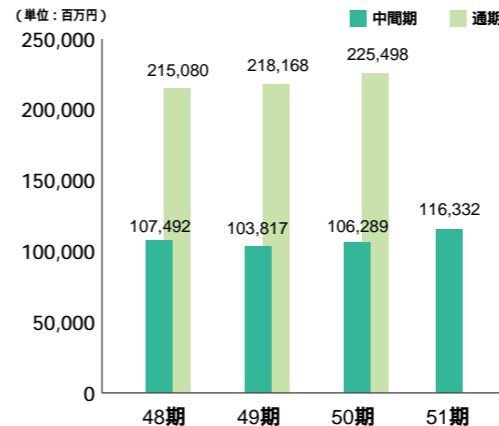
を開始した「新型ライフ」は好調なスタートを切っております。



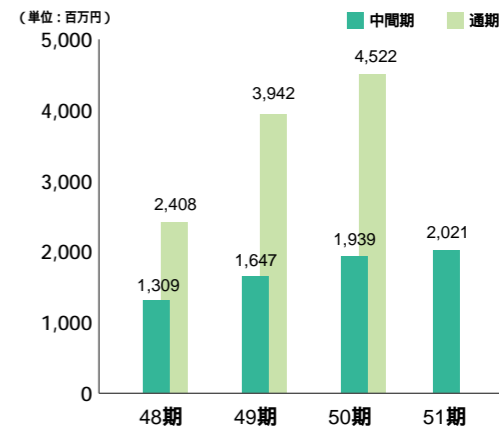
### [生産台数内訳]



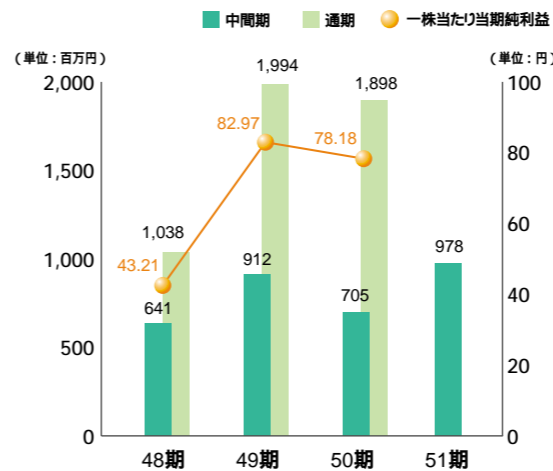
### 売上高



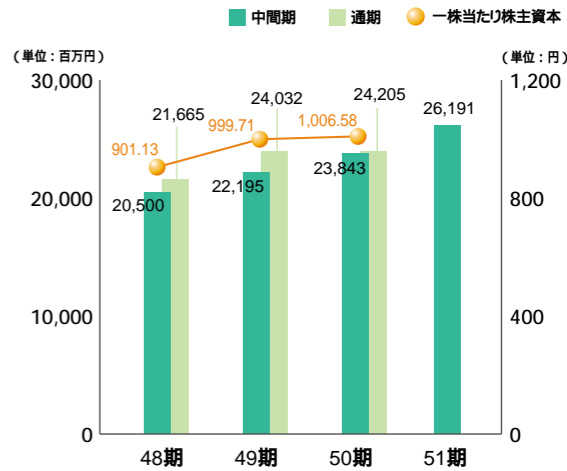
### 経常利益



### 当期純利益・1株当たり当期純利益



### 株主資本・1株当たり株主資本



連結財務諸表

中間連結貸借対照表

(単位:千円)

科目	前期	当中間期
	平成15年3月31日現在	平成15年9月30日現在
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	4,759,341	3,974,254
受取手形及び売掛金	24,885,734	27,858,286
たな卸資産	4,056,194	4,336,674
その他	2,017,236	5,095,387
流動資産合計	35,718,507	41,264,602
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物	29,715,210	30,591,991
機械装置及び運搬具	57,324,955	62,453,793
工具・器具及び備品	29,898,846	31,478,621
土地	8,617,240	8,663,431
建設仮勘定	3,420,206	2,842,096
減価償却累計額	78,583,142	82,262,114
有形固定資産合計	50,393,317	53,767,819
無形固定資産	383,065	368,575
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	5,352,080	5,702,784
その他	1,155,964	1,085,465
貸倒引当金	89,750	96,015
投資その他の資産合計	6,418,294	6,692,234
固定資産合計	57,194,677	60,828,628
繰延資産	301	119
資産合計	92,913,487	102,093,350

科目

負債の部

流動負債

科目	前期	当中間期
	平成15年3月31日現在	平成15年9月30日現在
支払手形及び買掛金	22,506,516	24,458,871
短期借入金	3,042,525	7,009,020
1年内返済予定長期借入金	7,411,206	7,728,463
1年内償還予定社債	1,000,000	1,000,000
未払金	5,598,281	5,488,851
賞与引当金	2,117,656	2,117,786
その他	2,976,690	2,256,503
流動負債合計	44,652,877	50,059,497

固定負債

科目	前期	当中間期
	平成15年3月31日現在	平成15年9月30日現在
社債	4,000,000	3,000,000
長期借入金	13,797,875	15,340,115
退職給付引当金	2,949,757	3,071,319
役員退職慰労引当金	292,811	273,345
連結調整勘定	320,768	285,127
その他	608,765	1,540,436
固定負債合計	21,969,976	23,510,342
負債合計	66,622,853	73,569,840

少数株主持分

少数株主持分	2,084,822	2,331,814
--------	-----------	-----------

資本の部

科目	前期	当中間期
	平成15年3月31日現在	平成15年9月30日現在
資本金	3,685,600	3,685,600
資本剰余金	3,504,066	3,504,066
利益剰余金	17,298,515	18,064,472
その他有価証券評価差額金	1,590,248	1,873,930
為替換算調整勘定	1,863,027	926,140
自己株式	9,592	10,233
資本合計	24,205,810	26,191,695
負債・少数株主持分及び資本合計	92,913,487	102,093,350

中間連結損益計算書

(単位:千円)

科目	前中間期	当中間期
	自:平成14年4月1日 至:平成14年9月30日	自:平成15年4月1日 至:平成15年9月30日
売上高	106,289,697	116,332,114
売上原価	101,845,612	110,455,566
売上総利益	4,444,085	5,876,548
販売費及び一般管理費	2,735,224	3,827,406
営業利益	1,708,861	2,049,141
営業外収益	740,255	489,244
営業外費用	509,922	516,430
経常利益	1,939,193	2,021,955
特別利益	-	28,545
特別損失	615,927	185,614
税金等調整前中間純利益	1,323,266	1,864,885
法人税・住民税及び事業税	878,227	830,052
法人税等調整額	257,032	305,304
少数株主利益	-	(減算) 361,959
少数株主損失	(加算) 3,639	-
中間純利益	705,710	978,178

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

科目	前中間期	当中間期
	自:平成14年4月1日 至:平成14年9月30日	自:平成15年4月1日 至:平成15年9月30日
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	1,323,266	1,864,885
減価償却費	3,508,223	4,385,318
退職給付引当金の増加額 又は減少額( )	82,184	121,561
売上債権の増加額( )又は減少額...	215,199	2,139,347
たな卸資産の増加額( ) 又は減少額	83,595	184,985
仕入債務の増加額 又は減少額( )	1,501,779	1,274,100
法人税等の支払額	1,568,827	838,623
その他	50,378	797,623
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,027,874	5,280,533
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	4,126,640	8,557,581
有形固定資産の売却による収入	225,811	27,294
新規連結子会社株式の 取得による収入	370,393	-
貸付けによる支出	2,600,000	2,486,900
その他	594,732	21,267
投資活動によるキャッシュ・フロー	5,535,703	10,995,920
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	19,744,469	14,246,478
短期借入金の返済による支出	13,169,676	10,362,855
長期借入れによる収入	1,544,782	5,070,000
長期借入金の返済による支出	2,611,402	3,641,932
社債の償還による支出	3,000,000	1,000,000
その他	150,385	496,508
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,357,786	4,808,198
現金及び現金同等物に 係る換算差額	101,877	121,731
現金及び現金同等物の 増加額又は減少額( )	1,251,920	785,456
現金及び現金同等物の 期首残高	5,208,972	4,754,648
現金及び現金同等物の 中間期末残高	3,957,052	3,969,192

# 単独財務諸表

## 中間単独貸借対照表

(単位:千円)

科目	前期	当中間期
	平成15年9月31日現在	平成15年9月30日現在
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	1,890,261	1,220,852
受取手形	192,135	131,714
売掛金	20,553,022	23,101,011
たな卸資産	2,248,551	2,662,025
その他	1,625,239	2,972,921
流動資産合計	26,509,210	30,088,525
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物	7,450,406	7,350,496
機械及び装置	11,876,492	15,161,373
工具・器具及び備品	2,713,019	2,443,415
土地	6,899,905	6,899,905
その他	3,177,883	2,323,577
有形固定資産合計	32,117,706	34,178,768
無形固定資産	169,896	137,101
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	11,605,851	12,084,987
その他	1,484,808	1,466,381
貸倒引当金	74,500	78,100
投資その他の資産合計	13,016,159	13,473,268
固定資産合計	45,303,763	47,789,138
<b>繰延資産</b>		
	301	119
資産合計	71,813,275	77,877,783
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形	316,315	317,273
買掛金	17,554,207	19,201,336
短期借入金	1,250,000	3,241,440
1年内返済予定長期借入金	3,621,780	3,985,840
1年内償還予定社債	1,000,000	1,000,000
未払金	4,644,955	5,079,048
賞与引当金	1,780,448	1,786,296
その他	2,218,283	1,425,278
流動負債合計	32,385,989	36,036,512
<b>固定負債</b>		
社債	4,000,000	3,000,000
長期借入金	8,611,700	11,497,700
退職給付引当金	2,142,777	2,205,903
役員退職慰労引当金	208,838	188,455
その他	73,674	231,986
固定負債合計	15,036,989	17,124,045
負債合計	47,422,979	53,160,557
<b>資本の部</b>		
資本金	3,685,600	3,685,600
資本剰余金	3,504,066	3,504,066
利益剰余金	15,619,973	15,663,861
その他有価証券評価差額金	1,590,248	1,873,930
自己株式	9,592	10,233
資本合計	24,390,296	24,717,225
負債・資本合計	71,813,275	77,877,783

## 中間単独損益計算書

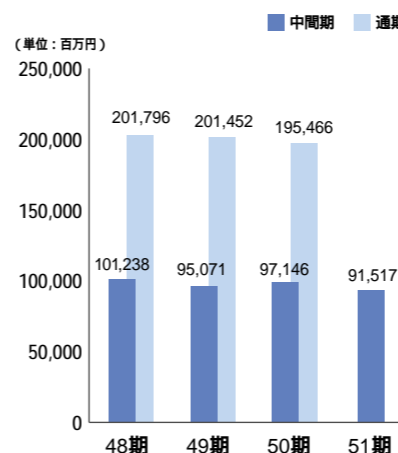
(単位:千円)

科目	前中間期	当中間期
	自:平成14年4月1日 至:平成14年9月30日	自:平成15年4月1日 至:平成15年9月30日
売上高	97,146,443	91,517,415
売上原価	93,824,723	89,159,272
売上総利益	3,321,719	2,358,142
販売費及び一般管理費	1,929,389	2,193,684
営業利益	1,392,329	164,458
営業外収益	508,678	451,058
営業外費用	175,072	155,731
経常利益	1,725,936	459,785
特別利益	-	1,175
特別損失	615,927	107,992
税引前中間純利益	1,110,008	352,968
法人税、住民税及び事業税	546,163	239,990
法人税等調整額	150,756	143,130
中間純利益	714,602	256,108
前期繰越利益	374,789	369,098
中間未処分利益	1,089,391	625,206

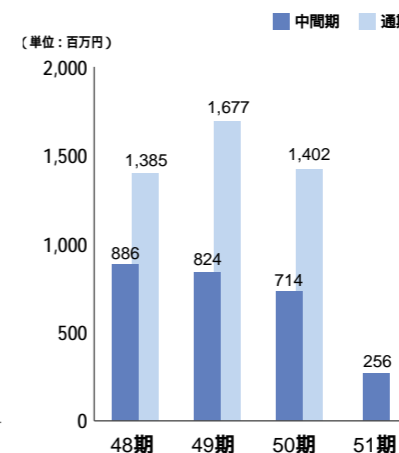
## 単独業績の概況

当中間期の単独売上高は、部品事業における板金部品の受注の減少及び完成車事業における生産台数の減少などにより、915億1千7百万円(前年同期比5.8%減)となりました。但し、当中間期の完成車事業の生産台数減少は「ライフ」のフルモデルチェンジに伴う一時的なものであり、9月より生産を開始した「新型ライフ」は好調なスタートを切っております。利益につきましては、売上高の減少に伴う利益の減少及び社会保険料の総報酬制移行に伴う費用の増加などにより、経常利益は4億5千9百万円(前年同期比73.4%減)、中間純利益は2億5千6百万円(前年同期比64.2%減)となりました。中間配当金につきましては、1株当たり6円とすることを決定いたしました。

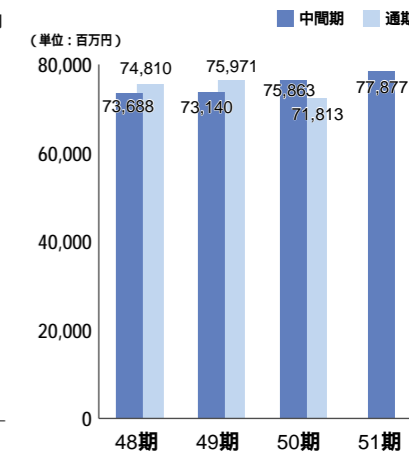
### 売上高



### 当期純利益



### 総資産



株式の状況

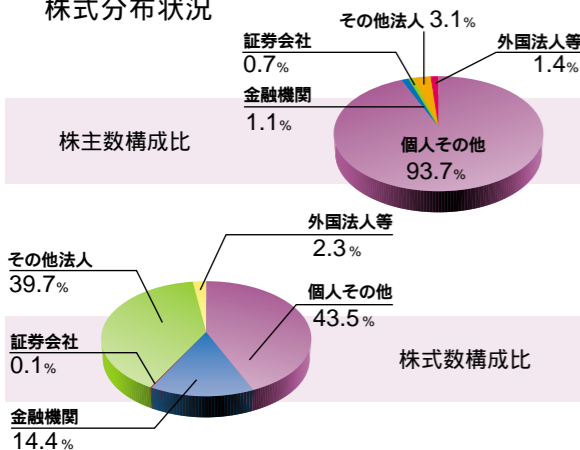
会社が発行する株式の総数	70,000,000株
発行済株式の総数	24,042,700株
株主数	1,239名

大株主

単位:持株数・千株 / 議決権比率・%

株主名	持株数	議決権比率
本田技研工業株式会社	8,294	34.6
大竹榮一	4,954	20.6
株式会社三井住友銀行	1,137	4.7
株式会社東京三菱銀行	859	3.6
埼玉車体株式会社	838	3.5
八千代工業従業員持株会	786	3.3
大竹好子	709	2.9
株式会社UFJ銀行	701	2.9
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	259	1.1
大竹讓司	240	1.0

株式分布状況



会社の概況

(平成15年9月30日現在)

社名 八千代工業株式会社  
 英文社名 YACHIYO INDUSTRY CO., LTD.  
 本社 埼玉県狭山市柏原393番地

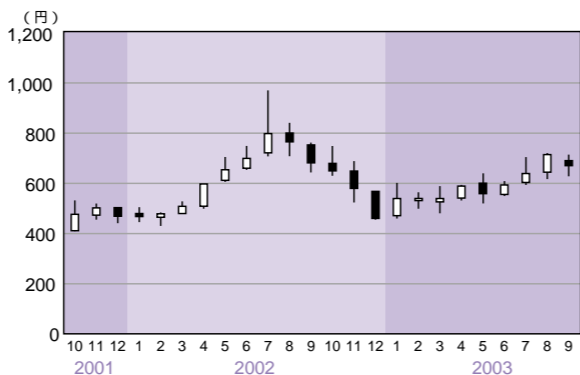
設立年月日 昭和28年8月27日  
 資本金 3,685,600,000円(平成15年9月30日現在)  
 従業員数 2,279名(平成15年9月30日現在)

役員一覧 (平成15年9月30日現在)

代表取締役社長	大竹茂	取締役	大竹守
代表取締役専務取締役	小見勇三	取締役	小松泰典
代表取締役専務取締役	手塚正人	取締役	横井晴彦
常務取締役	小川栄一	取締役	西海幸男
常務取締役	青山利夫	取締役	坂田英男
常務取締役	清水政和	監査役(常勤)	小山三二
常務取締役	杉山幸右	監査役(常勤)	千葉光三
常務取締役	吉田一郎	監査役	植木政弘
取締役	山下祐司	監査役	津田真人
取締役	久保田博		

(注) 1: 印の取締役は、商法第188条第2項第7号ノ2に定める社外取締役であります。  
 2: 印の監査役は、「株式会社の監査等に関する商法の特別に関する法律」第18条第1項に定める社外監査役であります。

株価チャート



事業報告書のアンケートにたくさんのご回答をありがとうございました。

皆様から頂いたご意見を誠実に受け止め、できる限り経営に反映させていきたいと考えております。これからも、より多くの貴重なご意見をお待ちしております。

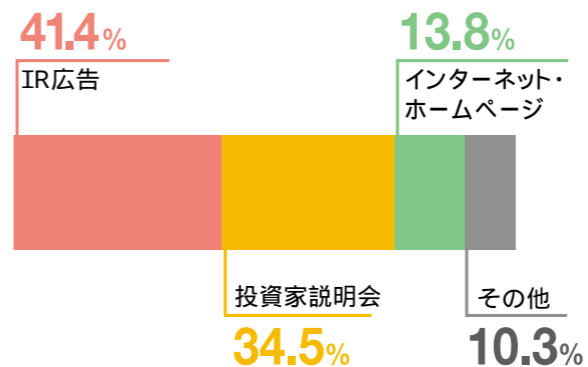
～ 50期事業報告書アンケートから～

皆様の声

事業報告書で取り上げて欲しいテーマ

今後の経営上の問題と会社の対応  
 将来に渡る事業計画に基づく業績予測  
 ホンダ以外の自動車メーカー(国内・海外)との取引について  
 新商品開発情報

情報提供手段として、どのようなものを希望されますか。(複数可)



キリヌキ

- 当社をどこでお知りになりましたか  
 証券会社 新聞・雑誌記事 ホームページ  
 知人のご紹介 その他 ( )
- 今回の事業報告書でご興味を持たれた内容をお選びください。(複数回答可)  
 社長インタビュー YACHIYOの製品 連結業績の概況  
 連結財務諸表 単独財務諸表 インフォメーション
- 今後、取り上げて欲しい情報はどのような内容についてですか。(複数回答可)  
 経営方針 今後の事業計画 業界の動向  
 業績・経営内容 新製品や新技術に関する情報
- 今後の当社株式についてはどのような方針をお持ちですか。  
 売却 長期保有 買い増し 未定
- 当社の株式を長期保有していただくためには何が重要とお考えですか。(複数回答可)  
 業績の向上 配当金の増加 株主優待  
 確かな経営ビジョン 財務の健全性 新製品の開発  
 情報開示 その他 ( )
- 当社のホームページについてご意見・ご感想をご自由にお書きください。  
 [ ]
- 当社または本誌へのご意見・ご感想がありましたらお願いいたします。  
 [ ]

ご協力ありがとうございました。なお、本アンケートを当社のディスクロージャーの充実以外の目的には利用しない旨、お約束いたします。